ねぇきみ・・・・・

坂本光男

ねぇ、きみ、お母さんを知ってるかい。
君が生まれたとき、病んだとき
眠らずにじっとそばにいて
心を痛めていたのがお母さんだ。

ねぇ、きみ、お父さんを知ってるかい。
夜中にどんなに遅く帰っても
きみの寝顔をそっとみて
黙って床についたのがお父さんだ。

ねぇ、きみ、友だちを知ってるかい。
平気でいつも楽しそうだけれど
誰もが１つ以上の悩みをかかえ
こらえながら頑張っているのが友だちだ。

ねぇ、きみ、自分を知ってるかい。
たとえ勉強やスポーツが苦手でも
必ず２つ、３つは自慢できるものがある。
それに気づいていないのが自分なんだ。

ねぇ、きみ、生きるって知ってるかい。
きみのなかにある、その自慢できるものを
どれでもいいから輝かせてごらん。
それがきみにとっての生きることなんだ。

ねぇ、きみ、生命って知ってるかい。
きみがもし死んだら親も友だちも泣く。
かけがえのないタカラモノだから
生きられるだけ生きてこそ生命なんだ。

ねぇ、きみ、未来って知ってるかい。
どうなるかわからないこれからを
きみの知恵と力できりひらく
そのわくわくする冒険が未来なんだよ。